

令和7年度全国会議シンポジウム

# **強靭で持続可能な水道システムの構築 ～水道カルテから考える水道の基盤強化～**

## **イントロダクション**

広島市水道局

次長（兼）技術部長 鬼村 和人

# シンポジウム趣旨

## 背景

- 我が国の水道施設は、高度経済成長期に整備されたものが多く、老朽化が進む中、強靭で持続可能な水道システムの構築が急務となっている。
- 一方、水道施設の更新や耐震化を実施していくには、ステークホルダーである住民一人ひとりの水道への理解が不可欠である。
- このため、国土交通省から料金回収率や基幹管路等の耐震化率を指標に各事業体の現状を見える化した水道カルテが令和6年度に公表された。



## 目的

この指標が公表されたことを足がかりとして、水道事業体の経営改善、耐震化の推進、住民への理解醸成を水道界全体で共有・加速させる

# 本日の流れ

---

- 1 水道カルテの概要について
- 2 水道事業の基盤強化に向けた日本水道協会の取組
- 3 強靭で持続可能な水道システム構築に向けた水道事業体の取組  
～耐震化推進の現状、料金改定の考え方、住民理解促進～
- 4 パネリストによる質疑応答
- 5 水道カルテから考える水道事業体の将来について
- 6 聴講者による質疑応答
- 7 閉会のことば